

# きたすま

忘れないでください、わたしの命は風にすぎないことを  
(ヨブ1・7)

No. 247(2月号)

2024年1月28日発行  
発行 カトリック北須磨教会  
〒654-0151  
神戸市須磨区北落合2-3-1

発行人 高橋 聡  
編集 広報委員会

## 能登半島地震

林 和則 神父

1月1日の10時、垂水教会で「神の母マリア」のミサを信徒の皆さんとともに捧げ、この一年もまた聖母が私たちの信仰の旅路の同伴者として歩んでくださることを願いました。日よりも穏やかであったので、午後からは散歩に出かけました。

垂水駅のすぐそばにある海神社では多くの参拝客が家族連れで列を作っていました。お父さん、お母さん、子どもたちが順番待ちの間も楽しそうに談笑していて、ひとり歩く私も何か心が浮き立ち、お正月気分には浸っていました。

夕方、シスターや信徒の方に頂いたお節料理をいただきつつ、お正月番組を楽しもうとしてテレビのリモコンのボタンを押すと、能登半島地震の速報、また津波からの避難を懸命に訴えるアナウンサーの声飛びこんできて、お正月気分は吹き飛びました。そして能登半島の多くの方がたが家族団らんでお正月を楽しんでいたところを地震や津波また火災に襲われたことを思い、胸が痛みました。

この原稿を書いている今日は1月17日です。阪神淡路大震災から29年がたちました。神戸西ブロックの信徒の方々の中にもこの震災を体験した方も多くおられて、同じように厳寒の時期に起こった今回の能登半島地震を人ごとのよう

に思われず、被災者の方がたを思って心を痛めておられることと思います。

1月21日付の「カトリック新聞」では名古屋教区の輪島教会、七尾教会それぞれが隣接する幼稚園とともに大きな被害を受けたと報じられています。

名古屋教区の松浦悟郎司教様は、大阪教区の司祭また補佐司教として阪神淡路大震災の復興活動において中心的な役割を担われました。その時の経験を生かして今回もきっと、教会のみならず教会外のためにも復興活動を力強く進めてくださると思います。松浦司教様は2021年2月16日に公布された「災害被災者のための祈り」を唱えてくださるようお願いされています。

私たちが何らかのかたちで個人的に、また教会の中で唱えて、能登半島地震の被災者の方がたに思いを寄せ、神の助けを願い求めましょう。募金活動も始まっています。一人ひとりが自分にできることをいたしましょう。



(寄稿) カミノ・デ・サンティアゴ  
 ～ 巡礼の旅 (第7回) ～  
 オ・ソングン (Br.オー)



神の摂理に導かれて(2)

大都市ブルゴスの市街地を出て野道を歩き始めたとき、私はゆっくりした足取りの巡礼者に出会った。巡礼者同士は、出会えばしばらく一緒に歩くが、そのうちそれぞれの道を進むのが一般的だ。彼は自分の経験してきた辛い話をしてくれた。「これからは神様と話をすればどうですか？」と私は言って自分の道を行こうとすると、彼はもう少し自分の話を聞いてほしいと懇願した。今日は彼の話を聞いてあげるのが摂理かと思い、聞きながら一緒にオルミージョス・デル・カミノという小さな町に着いた。

私はこの町に留まり、彼は去っていった。ここの公営のアルベルグには2段ベッドの手すりやはしごがないと聞いていたので、絶対に避けたいと思っていた。彼とゆっくり歩いてきて遅く着いたせいか、数少ない民間のアルベルグは満員で、仕方なく公営のアルベルグに行った。聞いていた通りだった。

このアルベルグは教会に隣接していた。巡礼者の祝福式に参加するため、夕方教会に行った。参加者は私を含め5人だった。式が終わり、その司祭と二人きりになった



とき、私は彼に「自分はマリスタ修道士だ」と自己紹介した。なぜそうしたのは分からない。それを聞いて彼は驚いた顔をして祭壇の反対側に私を連れていき、壁に飾られている殉教者のプラークを



壁に飾られている殉教者のプラーク、右端がその修道士のもの

見せてくれた。そのうちの一人が1996年アフリカのザイルで殉教した4人のマリスタ修道士の一人、セルバンド・メイヤーだった。

ここが彼の故郷であり、この聖堂で彼は洗礼を受けたのだった。司祭はこの修道士を称える記念碑に案内してくれた。それはアルベルグの入り口にそびえていた。私はここを何度か通り過ぎていたのに全く気付かなかった。ものごとは知らなければ目に見えないものだろうか。教会とアルベルグの間には、彼を称える詩碑もあった。

この4人のマリスタ修道士は、難民キャンプで約4,000人の子供たちの教育にあたり、カテキズムも教えていたのである。彼らの生命の脅威を感知した修道会の総長は何度もそこから撤退することを勧めたが、彼らの答えはいつも同じだった。「私たちは捨てられた人々を再び捨てることはできません。おそらく総長がここにいたら同じ気持ちになるでしょう。私たちが難民と共に滞在し続けることをお許してください」



1996年10月31日、修道士たちはルワンダの政権の軍人によって虐殺され、彼らの遺体は11月14日に廃水タンクの中で発見された。

司祭は最後に聖体拝領したいかと私に尋ねた。再び教会の中に入り、一緒に祈りを捧げた後、聖体を拝領した。巡礼の道で殉教した先輩修道士と出会い、一人で聖体拝領する私の心は、これまで以上に震え、畏れ、そして心が高鳴っていた。神の摂理というものはこういうものなのだろうか。神を避けて逃げようとするヨナ（ヨナ1, 3）が思い浮かんだ。私が避けたい場所（ここの公営アルベルゲ）に導いてくださる神の摂理は何と不思議なものだろう！道で出会った巡礼者も神の使いだったのだ。人生で私が避けたいことを思い浮かべ、その場所がまさに神と出会う場所なのだ。そして「これらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた」（ルカ2, 19）マリアのように、今日の出来事を心に深く抱き、さらに摂理の神秘に委ね、巡礼の道を歩くことを誓った。（つづく）

## 2024年 2月 典礼奉仕者表

月日・主日	司式司祭	先唱者	聖書朗読	奉納	献金	聖体奉仕
2/4 (日) 10時 第5主日	Fr.中川	YM	①YH ②MS	4地区	5地区	NS YK
2/11 (日) 10時 第6主日	Fr.高橋	HT	①NY ②OT	6A地区	6B・7地区	
2/14 (水) 10時 灰の水曜日	Fr.中川	YS	①IN ②MT	1地区	2地区	NY YK
2/18 (日) 10時 四旬節第1主日	Fr.高橋	KK	①KS ②MY	3地区	4地区	
2/25 (日) 10時 四旬節第2主日	Fr.中川	TH	①NK ②SM	5地区	6A地区	NS HT

## 越 年 越 冬 活 動

毎年「神戸の冬を支える会」主催で行われている越年越冬活動が、昨年12月28日から8日間にわたり、三ノ宮・東遊園地南端花時計広場で行われました。

元旦のこの日は約150人の方々が来られ、おしゃべりをしながらお雑煮とおにぎりをいただきました。

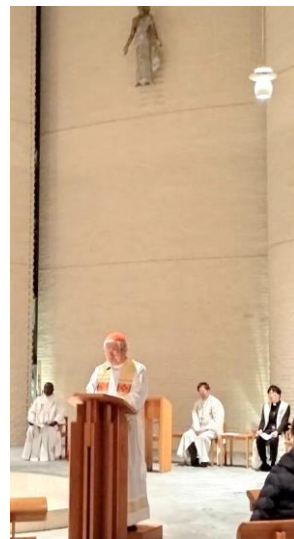


医療や法律などの相談コーナー



## キリスト教一致祈禱週間

毎年、1月18日(火)から25日(火)まで、全世界で全てのキリスト者が一致のために祈りを捧げています。今年のテーマは「神である主と隣人を愛しなさい(ルカ10・27)」でした。



神戸地区では、1月19日(金)18:00~19:15カトリック神戸中央教会で、前田万葉大司教と日本基督教団、日本ルーテル教会、日本聖公会の牧師による共同司式で礼拝が行われました。

## ✦ 災害被災者のための祈り

父である神よ、  
 すべての人に限りないいつくしみを注いでくださるあなたに、  
 希望と信頼をこめて祈ります。  
 災害によって、苦しい生活を送り、  
 不安な日々を過ごす人々の心を照らし、  
 希望を失うことがないように支えてください。  
 また、亡くなられた人々には、永遠の安らぎをお与えください。  
 すべての人の苦しみを担われたキリストが  
 いつもともにいてくださることを、  
 祈りと行動によってあかしできますように。  
 わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

(2021年2月16日 日本カトリック司教協議会認可)

### お知らせ

#### ■評議会から

- ・2024年度予算案が承認されました。
- ・教会は皆さまの維持費などの献金やご寄付をお預かりし運営しています。ご協力よろしくお願いたします。
- ・能登半島地震災害緊急支援の募金箱は聖堂入り口に設置しています。ご協力よろしくお願いたします。

#### ■社会活動委員会から

##### 物資提供のお願い

カトリック社会活動神戸センターより、毛布、男性用防寒具、寝袋、その他物品の提供依頼がありました。詳細は教会ホールに掲示し、その下にダンボール

箱を置いています。受付は2月いっぱいです。

毛布、男性用防寒具は早くご提供いただけると助かります。ご協力よろしくお願いたします。

#### ■地区委員会から

2月18日の教会清掃後に地区委員会を行います。復活祭のパーティー、地区の集いなどについて話し合う予定です。つきましては、ご意見、ご要望のある方は、各地区委員にお伝えください。

#### ■転出のお知らせ

ルチア TM 様

2地区から岸和田教会へ転出されました。お元気にお過ごしください。

## 編集後記

ウクライナとロシア、ガザにおけるハマスとイスラエル、自分が正しいとそれぞれの正義を振りかざしているように見えてきます。私たちの持っている常識も人それぞれです。みんなそれぞれ違う中で、聖霊の声を聴きながら互いを尊重し寄り添い共に歩むことができますように。(MMY)

# マンスリースケジュール2月

2024



日・曜日

2/1 木		
2 金		主日の聖書を読む会(14:00～)
3 土		ロザリオの祈り(14:00～)
<b>4 日</b>	<b>年間第5主日 ミサ10:00～ 中川神父講話(ミサ後)</b>	
5 月		
6 火		
7 水		
8 木		
9 金		主日の聖書を読む会(14:00～)
10 土		ロザリオの祈り(14:00～)
<b>11 日</b>	<b>年間第6主日 ミサ10:00～ ラウダートシサークル(ミサ後) (建国記念日) 世界病者の日</b>	
<b>12 月</b>	(振替休日)	
13 火	社会活動センター炊き出し(9:30) 力障連点字部勉強会(13:30～15:00) ミサ(10:30～) みことばを味わう集い(～12:00)	
14 水	灰の水曜日 ミサ10:00～ 典礼委員会(ミサ後)	
15 木		
16 金		十字架の道行き(13:30～14:15) 主日の聖書を読む会(14:15～)
17 土		ロザリオの祈り(14:00～)
<b>18 日</b>	<b>四旬節第1主日 ミサ10:00～ 教会清掃(地区委員全員・ミサ後)</b>	
19 月		
20 火		
21 水		
22 木		
<b>23 金</b>	(天皇誕生日) 十字架の道行き(13:30～14:15)	
24 土	広報委員会(10:00～)	ロザリオの祈り(14:00～)
<b>25 日</b>	<b>四旬節第2主日 ミサ10:00～</b>	
26 月		
27 火	ミサ(10:30～) みことばを味わう集い(～12:00)	
28 水		
29 木		
3/1 金	十字架の道行き(13:30～14:15) 主日の聖書を読む会(14:15～)	
2 土		ロザリオの祈り(14:00～)
<b>3 日</b>	<b>四旬節第3主日 ミサ10:00～</b>	

緊急時は高橋神父(090-6329-5709)にご連絡ください。  
また、ゆるしの秘跡、病者の塗油、ご聖体をご希望の方も、いつでもご連絡ください。



カトリック北須磨教会ホームページ <http://cathkitasuma.web.fc2.com>